よろこび

日蓮宗 顕聖会

本 山 妙顕寺

長音山 本要寺

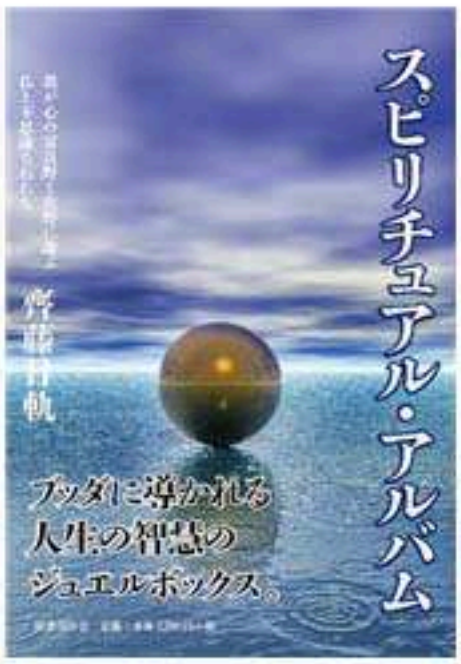
『よろこび』十七

貫首 齊藤 日軌

此の度、石仏庵記および本山妙顕寺ホームページ瞑想録に掲載した文章を整理し『スピリチュアルアルバム』を国書刊行会から出版しました。皆様のよろこび生活のお役に立てる事を願ってます。

「北海道の中心に位置する富良野。そこに建つ本要寺・石仏庵ではスピリチュアルな力をもった石たちが神仏と戯れる。金山石、神居古潭石、虎目石、水藻晶、翡翠、瑪瑙……。そこで暮らす石たちを愛で、瞑想に入り、前世を思い出し、石仏庵住職、水離脱や夢のなかで日蓮聖人やお釈迦様に教えを受け、体外日蓮教学の研鑽に励み、日本の中心栃木県佐野市にある日蓮宗本山妙顕寺第四十九世貫首に就任する。

石仏庵住職がつづる、ブッダに導かれし人生の智慧を収めたジュエルボックス。」（国書刊行会ホームページ）



みおしえ

私達の意識には、川のように流れる想念の流れがあります。失敗なども、過去の苦しみと学校などでの人間関係の悩みの続けてきた心の傷を抱え、まずは、後悔や自責、

しっかりと思い出し悔やんだり、過ちの想念が渦巻いていて繰り返し自分を攻め続ける力は、流れに成長にしてしまいます。これからの想念の流れに何こにはまり込むと出てこれなくなります。

供にもはなさそうな川で遊んでいる子のように、意識の流れにたりに渦に巻き込まれたりする子の流れてしまいます。

意識の流れは比較的容易です。換えよろこびの全ての流れに乗ることは難しいが、意識の流れを止めるこの想念の流れに乗ることは難しいが、南無妙法蓮華経と唱えよろこびの流れに感謝しましょう。

一方いつもにこにこ楽しそうに「よかった、よかったよ」と話しかけてくれる人もいます。苦しみの想念の流れを乗りの流れを止めることのいよ

心の言葉

南無妙法蓮華経と唱え
感謝からよろこびの流
れに入りましょう